

# 平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式3)

## 3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	評価者・組織	評価日
					分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見
1 確かな学力	基礎・基本の学力	各教科での言語活動の充実 研究活動の推進	教職員・保護者・児童アンケート	「基礎的な学力が身につく取組が進められている」A,B評価94%	⇒	学力調査の結果などから基礎基本の力が向上しつつあると言える。毎日の常時学習や放課後の学習を関連づけ見通しをもって取り組んだ成果と考える。10年近く取り組んでいる「よみとりおけいこ」(読解力テスト)を今後も続けていきたい。	心情面の読み取りについて課題が見られた。「よみとりおけいこ」の学習内容に物語り文の内容等も加味し、全学年で取り組んでいきたい。発言内容をまとめることや自分の考えを書く課題については、授業における意見交流をより進めたい。
	家庭学習の習慣化	学校だより・懇談会等での啓発	児童アンケート 懇談会等	「宿題をしていますか」A,B評価96%		図書室の整備を充実させることや図書ボランティアを活用して読書好きの子どもを育ててほしい。	図書ボランティアの取組を応援していく。
2 豊かな心	人権意識・規範意識の醸成	ハートde乾隆の取組 人権の日の取組	教職員・保護者・児童アンケート ハートde乾隆の取組	「集団での規律やマナーが身につく取組進められている」A,B評価	⇒	規範意識に関わる項目では、ハートde乾隆にがんばって取り組んでいる様子が分かる。	規範意識について問う項目については、年々よくなっている。
	豊かな体験活動の実践	ボランティア活動への参加 縦割り活動の取組	懇談会・縦割り活動の充実等	縦割り活動では、リーダーが頑張っており、よい見本となっている。		縦割り遊びなどもう少し日常的な取り組みをしていきたい。	家庭・地域での日常のあいさつ等もしっかりできるようにしていく。
3 健やかな体	体力の向上	業間マラソンの実施 マラソン大会の実施	マラソンカードの取組	マラソン大会の様子	⇒	自己の目標に向かって練習し、記録を伸ばすことで達成感を味わいながら持久力をつけるという目標で取り組みを学校全体で進められた。	記録の部分にも少しだけをもって取り組めるとよい。がんばりプリントを効果的に活用していく。
4 独自の取組	情報発信の充実	学校ホームページの随時更新	学校ホームページへのアクセス数等	アクセス数の増加	⇒	ホームページは、時間のあるときに意識して更新に努めている。	校庭の整備は、保護者・地域で協力している。部活動も地域の協力があり、充実している。
	家庭・地域との連携	各種行事への教職員の参加等	教職員・保護者アンケート	「家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている」A,B評価99%		地域行事等についても無理のない範囲での参加を教職員に呼びかけている。	子どもの体力向上やスポーツへの興味関心を高めていくため部活動への協力を進めていく。

## 4 総括・次年度の課題

- ・確かな学力の定着に向けた取組は、関係者評価において一定の評価をいただいた。学力向上のため図書館の整備活用について一層進めていく。
- ・保護者や地域の方に本校の教育活動について、取組内容等を分かりやすく伝えていると評価頂いた。
- ・評価等の文言については、毎年、意図が伝わるか検討を進めていく。